学校番号	1005

令和２年度　農業科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	葉っぱで見分け五感で楽しむ樹木図鑑（ネイチャー・プロ編集室）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次で学習した内容を継続し、農、自然、食の３つの分野について応用的な技術を身につける。また、体験的な学習を通してより専門性を高め、総合的な知識を習得することを目的とします。農業について自ら考え、探究できる力を伸ばし、リーダーシップや協調性を身につけてくれるよう期待します。

２　学習の到達目標

実験、実習で学習した内容をレポートにまとめ、知識と技術の習得をめざす。また、定期考査で習熟度を確認する。また「農業と環境」や「課題研究」などの農業科目と関連付けて充実を図りながら、生徒の学びを深めていく。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	農、自然、食の分野について偏りなく興味を持ち、積極的に授業に取り組むことができる。また自ら発言したり行動したりするなど主体的な活動ができる。	食品の製造や加工、動植物の観察やスケッチを通して、アイディアを形に表現することができる。 また、物事を予測して仮説を立て、実証できる力を備えている。	道具、機械の使い方を理解し、扱うことができる。また、栽培実習や食品実習では、専門的な技術を身につけて実践することができる。	授業の内容を理解し、農、自然、食の分野について満遍なく知識を身につけている。
評価方法	授業のレポート スケッチ・観察 発表態度 授業態度 出席状況	授業のレポート スケッチ・観察 発表態度 授業態度	授業のレポート 発表態度 授業態度 実技テスト 作品の完成度	授業のレポート スケッチ・観察 発表態度 授業態度 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	栽培分野実習 自然分野実習 食品分野実習	夏野菜の栽培 里山の自然(春夏) 菓子の製造	○	○	○	○	a:それぞれの分野に興味を持ち、意欲的に発言や行動することができる。 b:作品の製作や、食品加工においてアイディアを形にできる。 c:実習において専門的な技術を習得し、実践している。 d:定期考査やレポートにおいて授業内容を理解している。	授業のレポート スケッチ・観察 発表態度 授業態度 定期考査 出席状況 実技テスト 作品の完成度
2学期	栽培分野実習 自然分野実習 食品分野実習	冬野菜の栽培 里山の自然(秋冬) パンの製造	○	○	○	○	a:それぞれの分野に興味を持ち、意欲的に発言や行動することができる。 b:作品の製作や、食品加工においてアイディアを形にできる。 c:実習において専門的な技術を習得し、実践している。 d:定期考査やレポートにおいて授業内容を理解している。	授業のレポート スケッチ・観察 発表態度 授業態度 定期考査 出席状況 実技テスト 作品の完成度
3学期	栽培分野実習 自然分野実習 食品分野実習	学習成果発表	○	○		○	a:積極的に発表している。 b：発表内容を自分で考えて表現することができる。 d:定期考査やレポートにおいて 1 年間の内容を理解している。	授業のレポート 発表態度 授業態度 定期考査 出席状況

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。